

湘南フォーラム



市民生活に優しい 安心・安全なまちづくりを目指して

小泉 春雄 議員

平成29年度予算編成

市長 予算編成方針を伺う。市長 将来を見据え、本市が持続可能な発展を遂げるための施策を着実に推進する予算編成となるよう、策定する。

問 消費増税の延期に伴う本市財政への影響を伺う。市長 本市の社会保障関連施策において、延期による財源不足の発生を懸念している。行政サービスの水準の低下を招かないよう財政運営を行っていく。

問 消費増税の延期に伴う本市財政への影響を伺う。市長 本市の社会保障関連施策において、延期による財源不足の発生を懸念している。行政サービスの水準の低下を招かないよう財政運営を行っていく。

問 消費増税の延期に伴う本市財政への影響を伺う。市長 本市の社会保障関連施策において、延期による財源不足の発生を懸念している。行政サービスの水準の低下を招かないよう財政運営を行っていく。

農業委員会の役割

問 新制度における各地区の農業委員数、農地利用最適化推進委員数を伺う。農業委員会事務局 市内10地区に分け、農業委員

問 新制度における各地区の農業委員数、農地利用最適化推進委員数を伺う。農業委員会事務局 市内10地区に分け、農業委員

選挙制度改正

問 選挙権年齢の引き下げで選挙権を得た人数と参議院議員選挙での18、19歳の



声や点字の議会だより

目の不自由な方に市議会の活動状況をお伝えするため、議会だよりの内容を朗読した「声の議会だより」を発行しています。また、点字版も発行しています。

ご希望の方は議会局までご連絡ください。

問い合わせ 議会局 ☎21-8791

投票率を伺う。

選挙管理委員会事務局 人数は4964名である。投票状況は18歳が50.48%、19歳が44.95%である。

問 政治への関心を高めるために高校生議会の開催を提案するが見解を伺う。

企画政策部長 実施主体、運営の在り方などを庁内で検討したい。

児童自立支援拠点

問 情緒障害児短期治療施設に入所する児童・生徒への



持続可能な行財政運営で 安心・安全なまちづくりを

山原 栄一 議員

行財政改革の取組み

問 財政の見直しを伺う。副市長 現時点では、一定の健全性を確保しているが、社会保障関係費の増加や公債費の増大が見込まれるため、一層の財政健全化に取り組む必要がある。

問 新庁舎へ移転が決まっている豊原分庁舎はどうするのか。企画政策部長 建物は耐震基準を満たしていないので、移転後解体する。土地は売却や利用について検討する。

市民センターの今後

問 今後の取り組みを伺う。副市長 耐震補強が施設全体に及ぶことの課題や見附台周辺地区整備事業を踏ま

水田を活用して 河川の氾濫対策を

問 台風9号では、金目川水系の4か所が氾濫危険水位になり避難勧告が出た。流域の平塚、秦野、伊勢原市の水田は、30年間で現在の本市の水田とほぼ同じ面積が減少している。河川への流入水を抑えるため、水田を活用して「あぜ付け」に助成をしたらどうか。

防災危機管理部長 豊田地区の水田であぜをかさ上げして、保水効果を確認する

の教育について、想定している人数、運営主体を伺う。教育長 県から29年4月には、小学生6人程度、中学生4人程度と聞いている。施設内に金目小学校、金目中学校の分校を設置する協議をしているため運営主体は本市であると考えている。

問 分校への管理職、養護教諭、事務職員の配置はどのようにするのか。教育指導担当部長 管理職は、教頭職を1名配置することで調整している。養護教諭、事務職員は、県から配置が難しいと聞いているが、強く要望していきたい。

問 知的障害児入所施設の児童・生徒が通学する際の課題と対応を伺う。教育長 県から29年4月には、金目小学校に10人、金目中学校に3人が通学すると聞いている。小学校では、知的障害児級が1クラス増える見込みであるが、現在の教室数や教材で対応できる。介助員は、各小・中学校の支援級の状況を勘案し予算の範囲内で配置する。

問 子供たちの登下校時の安全確保策を伺う。学校教育部長 登校時は公用車で送り、下校時は職員が付添い徒歩で帰る。

問 改修完了後、氾濫は解消するのか、対策の見直しを伺う。土木部長 現在の排水路は、時間雨量30ミリ程度に対応したもので、51ミリに対応できるように改修を行っている。改修後は、排水路近隣の床上浸水や大丸丸島線の通行止めが解消できるものと考えている。

問 床下浸水は、防げないのか。土木部長 西海地排水路の

問 駅北口の状況を伺う。都市整備部長 既存のエレベーターの利用時間延長は、実現困難となった。新設案は、設置位置やルートの絞り込みを行っている。

問 下りエスカレーター設置の見解を伺う。都市整備部長 利用者の利便性向上に資するため、JR東日本に働きかけていく。

問 大雨に弱い道路

問 台風9号による大雨で冠水した下島地区の県道606号への対策を伺う。土木部長 今年度、打間木排水路からの逆流を防止するためフラップゲートをつける予定である。また、東豊田工業団地の南西に団地のポンプ場があるが、稼働方法や効率的な運転ができるよう調査、研究している。

このほかの質問 水稲農業の現状 県が行う道路整備事業 安心・安全の歩道整備

岡崎西海地排水路 改修後の見直しは

岡崎西海地排水路 改修後の見直しは

岡崎西海地排水路 改修後の見直しは

岡崎西海地排水路 改修後の見直しは

湘南フォーラム 所属議員 内堀 祐一 議員 出村 光 議員

常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。主な質疑を紹介します。

教育民生

議案2案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第74号 平成28年度平塚市一般会計補正予算

問 学校建設費のみずほ小学校校舎増築事業で、補正予算で行う工事の内容とスケジュールを伺う。

答 3階建ての鉄骨造で6教室の増築を行う。29年2月から杭工事を行い、30年4月の使用開始を予定している。

問 幼稚園費の幼稚園運営補助事

業について増額補正するが、どのような制度の変更があったのか。

答 就園奨励費補助金制度について、低所得の多子世帯やひとり親世帯などを対象に補助金額を増額し、負担軽減の拡大を図る。

問 去年亡くなられた女性からいただいた、教育振興のための指定寄附金が歳入に計上されているが、寄附金の使途について伺う。

答 生前、子供たちのために高等学校等修学支援事業へ活用してほしいと申し出があり、意向に沿って次年度以降の事業に活用する。

都市建設

議案6案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第70号 平塚市火災予防条例の一部を改正する条例

問 消防設備等の状況が法令などに違反する場合、施設を公表できるとあるが、現状を伺う。

答 不特定の人が利用する建物が対象となり、未設置の設備が30件ある。是正を進めているが、施行された場合、公表対象となる。

○議案第74号 平成28年度平塚市

一般会計補正予算

問 安全対策費の防犯設備整備事業で、防犯カメラをどの地域に設置するのか。

答 10月の大型商業施設の開業と天沼地区の宅地開発などに伴い、駅からの道中を計画している。

問 防災対策費の地震・津波防災対策事業で、道路狭あい地区などに設置する感震ブレーカーは、どのように配布するのか。

答 基本的には、対象12地区の自治会に協力してもらって配布し、自身で取り付けしてもらう。